

議 事 録

会 議 名	令和4年度第1回八潮市水道運営委員会
開催日時	令和4年7月5日（火） 午前9時56分～11時30分
出席委員	村山委員長、面来副委員長、坪田委員、渋谷委員、恩田委員、飯山委員、山中委員、村松委員、木村委員、玉森委員 10名
次 第	1. 開 会 2. 委嘱書交付 3. あいさつ 4. 自己紹介 5. 委員長・副委員長の選出 6. 議 題 (1) 八潮市水道事業の概要について (2) 令和4年度八潮市上水道事業の予算について 7. 閉 会
議 事	<p>1. 八潮市水道事業の概要について事務局から説明後、質疑応答を行った。</p> <p>○主な質疑応答 （委員） 給水人口は令和2年度をピークに減少しているのに対し、給水件数が増加している理由について伺いたい。 （事務局） 給水人口は八潮市が供給する水道水を利用している人の数であり、八潮市の人口とほぼ同じである。また、給水件数は給水の申請をしている件数である。 給水人口が減少しているのに給水件数が増加している理由としては、つくばエクスプレス八潮駅の開発に伴い、単身世帯が増加し、世帯数が増加していることや、八潮駅周辺を中心に事業者の給水申請が増加していることなどが考えられる。市外在住の事業者が給水申請した場合、給水人口は増加しないが、給水件数は増加することになる。</p> <p>2. 令和4年度八潮市上水道事業の予算について事務局から説明後、質疑応答を行った。</p> <p>○ 主な質疑応答 （委員） 収益的収支の「その他の費用」について、前年度と比較して増減があったのか伺いたい。 （事務局） 「その他の費用」は、地下水（井戸水）を滅菌するための薬品の購入費用や、水道事業を運営するために委託している水道料金徴収事務手数料や浄水場・配水場施設管理業務などの費用、その他の営業活動に必要な費用である。</p>

令和3年度の予算額は3億6,891万円、令和4年度が3億9,040万円であり、前年度と比較すると約2,100万円増加している。

この理由は、新たに「八潮市水道事業基本計画検討業務委託」を予算に計上したためである。

この委託は、水道事業を健全に運営していくために必要な検討資料を作成するもので、具体的には長期的な水道料金の推計や浄配水施設の更新時期の検討、更新費用の推計などを行う予定である。

(委員)

八潮市の耐震適合率が全国平均及び埼玉県平均と比較し、低い理由について伺いたい。

(事務局)

耐震化率については、中央浄水場内や基幹管路の大口径の水道管の更新を重点的に行っており、大口径の水道管の更新は多くの費用を要するため、耐震化率が伸びていない。

耐震適合率については、八潮市は地下水位が高く、田んぼを埋め立てた土地とされており、軟弱地盤となることから、地盤の性状から耐震性が評価されず、耐震適合率が低い状況にある。

そのため、令和2年度から安価で施工性の良い青ポリ管を採用し、耐震化率の向上に努めている。

(委員)

借入金の利率について確認したい。また、金利が高かった時期の利率について伺いたい。

(事務局)

水道部では民間の金融機関よりも低利の財務省や地方公共団体金融機構から借入れを行っている。

令和3年度は0.7パーセントの利率で地方公共団体金融機構から借入れを行った。

また、平成4年度に財務省から借入れしたときの利率は4.40%であった。

(委員)

水道メーターの交換は何年で行っているのか。また、交換費用は誰が負担するのか確認したい。

(事務局)

計量法の定めにより有効期限が8年と設定されている。八潮市では交換時期に余裕をみて、原則7年で交換することとしている。交換費用や交換に必要な改善については水道部が負担する。ただし、給水装置に破損などがあった場合の修理費用については、所有者等の負担となることがある。

(委員)

直結給水とした場合、何階まで給水が可能か伺いたい。

(事務局)

水道管の圧力が十分確保されているなどの条件を満たすものについては、3階までの直結給水を認めている。また、増圧ポンプを設置すれば直結ではないが、3階以上の階への給水も可能である。

(委員)

八潮市にある 8 か所の井戸は使用可能なのか。また、災害時に給水が停止した場合は、井戸水を汲んで給水するのか。

(事務局)

8 号水源井については、施設の劣化や水質の悪化などの理由により現在は休止している。

災害時は、井戸水を汲み上げ、浄水処理をすれば利用は可能である。なお、平時は PC タンクに一定量の水道を貯留しているため、まずは PC タンク内の水道水により給水を行うこととなる。

以 上